

中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会
 プラスチック製容器包装に係る再商品化手法専門委員会
 産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会
 容器包装リサイクルWGプラスチック製容器包装に係る再商品化手法検討会
 合同会合作業チーム(第2回)

材料リサイクル事業者ヒアリング

平成22年3月16日

日本環境保全協会
 (福井環境事業株式会社 安達弘幸)

現行のベール品質を前提として、現状と再商品化事業者の努力による改善可能性
 (1)ペレット品質と価格の現状

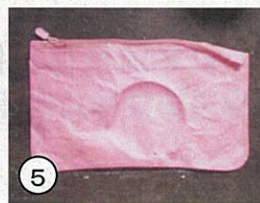
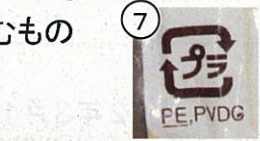
- 品質 塩素0.14/0.10% 主成分96.3/96.4% 水分0.3%
 (H21年度容リ協会調査結果)
 (優先品質基準 塩素分0.3%以下、主成分濃度90%以上、水分1.0%以下)
- ペレット価格 数円～数十円/kg(過去数年の実績価格)
- ペレット価格の主な決定要因
 - ①バージン・産廃系プラの価格
 - ②利用用途・製品市場
 - ③ペレット品質(成分、安定性)
 - 現状では、利用先の原料調達事情や製品の市場性などによる影響が大きい。



現行のベール品質を前提として、現状と再商品化事業者の努力による改善可能性
 (2)他工程利用プラの発生量とその処理の現状

■ 他工程利用プラの内容

- ① PP/PE/PS以外の樹脂(複合材含む)
- ② アルミ蒸着・アルミ箔
- ③ 篩目以下の破片や小さい容器
- ④ 選別時に共連れされたPP/PE/PS
- ⑤ 容器包装材以外のプラスチック製品
- ⑥ 内容物が残っていたり汚れのひどいもの
- ⑦ 塩素系樹脂(PVC,PVDC)を含むもの



日本環境保全協会

3

現行のベール品質を前提として、現状と再商品化事業者の努力による改善可能性
 (2)他工程利用プラの発生量とその処理の現状

- 約50%が他工程利用プラになる → RPF化
 - RPFのJIS化で塩素濃度が規定された。(JIS Z 7311)
 - 今後、RPFの塩素濃度管理が厳しくなる。

品種	RPF-coke	RPF		
等級	—	A	B	C
高位発熱量 MJ/kg	33以上	25以上		
水分%	3以下	5以下		
灰分%	5以下	10以下		
全塩素分%	0.6以下	0.3以下	0.3~0.6	0.6~2.0



日本環境保全協会

2

4